琉游舎 Ryu Yu Sha Place to pray, play and progress

アトリエ琉游舎だより 104号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/
琉游舎for healing https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3
2021年5月5日発行

節は五月にしく月はなし 菖蒲 蓬 などのかをりあひたる いみじうをかし

（清少納言「枕草子」46段）

○「節句は五月に勝る月はない。菖蒲・蓬などが香り合っているのも大変趣深い」と清少納言は枕草子で語っています。5月5日は菖蒲の節句ですが端午の節句の方が通りが良いようです。

○節句は伝統的な年中行事を行う季節の節目の日です。七草の節句・桃の節句・菖蒲の節句・七夕・菊の節句が五節句です。端午は五月の最初の午の日のことでしたが、午（ご）という文字音が五に通じることから、奈良時代以降は5月5日を端午の節句として定着したようです。

○この時期盛りを迎える菖蒲は、派手で色鮮やかな花菖蒲（アヤメ科）のことではなく、地味な花の咲くサトイモ科の菖蒲のことです。この菖蒲は蓬と同様香り高く古来から健康を保ち邪気を祓う力があると信じられていました。菖蒲はいわゆるハーブのようなもの。菖蒲湯に入り菖蒲酒を飲み菖蒲枕に眠るなどの薬効のほか、家の軒に菖蒲を飾って邪気を祓うという風習も 古くから行われました。端午の節句は菖蒲づくしの一日でもあるのです。最近はそんな風習も消え去り、鯉が空にたなびく姿を見かけることも少なくなってしまったようです。

○春から夏への季節の変わり目は、疲れが出たり病気になりやすい時期です。また田植えと言う重要な農事を控え英気を養う必要もありました。菖蒲の節句には健康を維持しこの時期を乗りきる願いと知恵が込められているのです。現代は、菖蒲や蓬や鯉のぼりに私たちの健康や子供の成長を託さなくてもよい時代です。代わりに医科学に任せておけば万事安泰ですね。

○それが心の隙となったのか、新型コロナ禍で万事安泰とは言っていられなくなりました。ワクチン接種すればまた万事安泰としきりに喧伝していますが、それもいつになることやら。「六日の菖蒲、十日の菊」の諺よりは、「2月14日を過ぎたバレンタインチョコ、12月25日を過ぎたクリスマスケーキ」の方が分かり易い喩えだったでしょうか。時機を逸して価値のなくなることは無いと信じて、順番を気長に待つことにします。

詩話会
5月8日(土)
13時半から

写経会
5月9日(日)
13時半
般若心経・自我偈・観音偈の手本を用意しています。初めての方もすぐにできます。

読書会
5月11.25日
火曜13時半
日蓮の「立正安国論」と消息文を読みます。テキストもすべてご用意。

居酒屋の会
5月25(日)
16時半から

5/13	13時半	ノックは無用（76分）	戦争で恋人を失った女性。ベビーシッターとしてあるホテルに雇われるも、彼女は精神的に
木			不安定な状態にあり、、、マリリン・モンローの絶妙な役作りの傑作スリラー映画。
5/20	13時半	悪魔が夜来る（120分）	マルセル・カルネ監督。ユーグ稿の城でアンヌ姫とルノーの婚約の祝宴が開かれていた。
木			そこへ二人の吟遊詩人が現われるが、正体は悪魔の使いだった。
5/27	13時半	街の野獣（96分）	ジョールス・ダッシン監督。客引き係のハリーはいつも一獲千金を夢に見てばかりいた。
木			そこで伝説のレスラーを見たハリーは彼を担ぎ上げてプロレス興行で一儲けしようと考える。
6/2	13時半	雲の中の散歩（88分）	アレッサンドロ・ブラゼッティ監督。口うるさい妻との生活にうんざりしていたセールスマン
木			のパオロ、ある日彼は未婚の妊婦マリアと出会い、彼女にあることを頼まれる。
6/9	13時半	結婚協奏曲（85分）	6組の夫婦の結婚は無効だった？新米判事が手続きを誤っていたことから、彼らは法律上独身
木			ということが明らかに。モンローの魅力満載のラブコメディー。

狂言綺語…挨拶

琉游舎
Ryu Yu Sha
Place to pray, play and progress

都会の雑踏の中では見知らぬ同士が挨拶をすることはまずありませんが、歩く人の少ない田舎ではすれ違えば知る知らないの関係なく必ず挨拶をします。「こんにちは」と声を掛けることもあれば、50㍍くらい手前からずっと「声をかけないで！」とオーラを出している人もたまにはいるので、そんな時は軽く会釈するだけのこともあります。田舎では人の他に犬も挨拶相手です。全身に喜びを溢れさせ飛びかかってくる犬や我れ関せずと無愛想に通り過ぎていく犬、後ずさりをしながらキャンキャン吠える犬、これが犬の挨拶です。猫や狸やカラスに山鳩に蛇、いずれも出会えばこちらをちょっと値踏みをするかのように立ち止まり、害を加えないと分かるとおもむろに立ち去っていきます。これも野生の生き物の人への挨拶なのかもしれません。

挨拶や声かけ運動という地域のコミュニケーション活動は各地で今でも行われていることでしょう。家庭と学校と地域が連携して大人と子供、大人同士、子供同士が知り合い仲良くなるためには、まず挨拶からという主旨の運動です。先日隣町をウォーキングしていると、後ろから自転車で追い抜いていった女子中学生に「こんにちは！」と大きな声をかけられました。畑仕事の初対面のおばさんと道端で作物談義をしていると、男の子が私たちに「こんにちは！」と頭を下げて去って行きました。「この町では子供は見知らぬ人にも挨拶をするのですか」と問えば、おばさんは「そんな不思議かい、昔っからそうだよ」と答えました。挨拶をされていやな気分になる人はまずいません。私の返す挨拶と呼応し気持ちが行き交います。一方、日を置かずにこんなことがありました。市の依頼で大型連休中の新型コロナ対策を訴える「立哨」を駅前で行ったのです。（市の依頼文に「立哨活動」と書いてあったのでそのまま書きますが、戦時体制でもあるまいし「監視・警戒活動」はふさわしい言葉ではないですね。「街頭広報活動」と言うべきです。余談ですが）その立哨活動の時間帯に道の反対側を何組かの小学校の登校班が通り過ぎて行きました。私は市職員と二人で道の向こう側の子どもたちに「おはようございます」と呼びかけました。たまに元気に挨拶を返す子供もいますが、ほとんどは声の方を振り向きはしても、出所を確かめるとおもむろに前を向き黙々と学校へと向かっていきます。私がよく道で出会う野生の生き物たちのような彼らの応対に、挨拶は宙を漂うばかりです。

この挨拶を廻る二つの出来事で、私は「一挨一拶（いちあいいっさつ）」という禅の言葉を思い出しました。日常使っている言葉の挨拶の語源です。「挨」は軽く「拶」は強く触れるという意で、「挨拶」は押し合いへし合いする中で、前に出ようとしながら相手の力量を見極める行為です。禅では修行者同士が出会ったときに言葉や動作で相手の悟りの深浅などを試すことを表します。挨拶の場で相手の力量が上回ると分かれば教えを乞い、逆であればまた新たな師を求めて挨拶を繰り返す。そのような光景が目に浮かんで来るようです。今日では挨拶は社交儀礼のように思われていますが、本来の意味は修行者が悟りを得るために日々重ねる研鑽方法なのです。ただ、私は公案注1を介しての言葉や心のやり取りでその人の悟りの深浅を見極める禅の徒ではありませんので、挨拶は日常のありのままの行いのひとつであればそれだけで充分なのです。

軽く挨拶を交わすことを「会釈」と言います。これは仏教用語にある「和会通釈（わえつうしゃく）」の略語です。経典は永い年月、多くの人の手により書かれたものですから、それぞれは互いに矛盾だらけです。しかし人々はそれをお釈迦様が生涯にわたって一人で説かれた教えと、明治になるまで信じてきました。僧侶たちの仕事はこの経典の二律背反（相互に自己矛盾する教説）を照合しながら、矛盾のない解釈を導き出すことにありました。古い教説同士の矛盾点をより高い次元で融合させ新しい教説を提示することと言えばよいでしょうか。西洋哲学で言う止揚（矛盾する諸要素を、対立と闘争の過程を通じて発展的に統一する）の仏教版思弁方法とも言えます。この相互矛盾を高い次元で融和に導き教説の矛盾を解消する「会釈」の意味が、時を経るうちに経典融和から人間融和のための「挨拶」の意味へと転化していったようなのです。

私は挨拶と会釈という日常儀礼言葉の語源が「一挨一拶」と「和会通釈」という仏教用語にあることを説明してきました。悟りのための修練が「挨拶」で、お釈迦様の教えのより高次元での融合が「会釈」という言葉です。この「挨拶」と「会釈」が、今日、日常語として使われる挨拶と会釈となるまでに辿って来た永い年月の道のりを、挨拶には禅の深遠な思想があると語ってもそれはただの蘊蓄であり、挨拶は悟りへの道と、誰彼かまわずの挨拶の実践を推奨しても、それは意味もなく念仏や題目を唱えることと変わりがありません。何かの為にする行為を私は「行い」とは呼びません。「行い」は安らぎの処へと歩むことそのものにあるからです。それはありのままの日々をありのままに過ごすこと。私が日々交わす挨拶は、見知らぬ者同士の相互往来の始まりかもしれませんし、宙を漂うばかりの泡沫かもしれません。ただどちらであろうとも「一挨一拶」であり「和会通釈」です。なぜならそれは自己と他者との間のありのままの姿だからなのです。

日本社会特有の挨拶文化に、例えば年始は「年始御挨拶」とスタンプを押した名刺を持参して挨拶に向かう風習があります。犬のマーキング行動、或いは相手先との従属や忠誠関係の確認行為のようなものでしょう。この日本社会の良き（悪しき）挨拶文化も私の会社員時代末期には時間の無駄と思われたか、虚礼廃止の会社が増えてきました。ただ油断は禁物です。第三者から「戸井さん挨拶はまだなんですって」と言われたら相手先は「まだ挨拶がない」と怒っているか「これは御挨拶だね」と皮肉っているかのどちらかです。今ならそれも「一挨一拶」と思えますが、当時は冷や汗を掻きながら慌てて挨拶に赴いたものでした。

琉游舎：戸井　出琉・恭子
お問い合わせ先：0287-53-7848　08033508152
矢板市大槻2319－17コリーナ矢板Ｃ－８５０
メール：toi101izuru@outlook.jp

注1：禅宗で参禅者に出される問題